

## 始業式式辞

令和7年4月7日

今年は3月上旬に寒い日が多く、桜の開花が少し遅くなり、今日の始業式を満開の桜の中で迎えることができました。

さて、今日から、令和7年度が始まり新3年生、新2年生の新しい出発の日、新しい学級でのスタートの日となりました。

3年生は、最高学年となり、体育大会や文化発表会、生徒会活動など、全校で取り組む行事や部活動を引っ張っていくこととなります。これまでのよい伝統を引き継ぎ、素晴らしい維孝館中学校を築く中心になってほしいと思います。

また、自分を見つめ、中学卒業後の進路や将来について考えてく学年となりました。家の人や先生とも相談しながら、しっかりと考え、決定して行ってください。何事も先を見通して計画的に行い、有意義な1年間にしていきましょう。

2年生は、昨年の経験を生かし、3年生と共によりよい維孝館中学校を築けるように努力していきましょう。水曜日には、1年生が入学します。昨年皆さんが上級生にしてもらったように優しく丁寧に接してあげてください。

部活動では、2学期から、皆さんが中心となって活動することになります。まずは、1学期の一日一日を大切にして学習面や生活面、部活動で多くのことを積み上げていきましょう。

今日から1年のスタートです。みなさんは今年1年どんな学校生活を送りたいですか？目標はもう立てましたか？

先生は、

「お互いを認め合い、みんなが安心して生活できる学校」、

「お互いに思いや考えを出し合い、楽しいことやワクワクすることを生み出す学校」

「一人一人が得意なことを発揮し合い、みんなが生き生きと活躍できる学校」を目指したいなと思いました。

そこで、この1年間、「みんなが安心して生活できる学校」、「楽しいことやワクワクすることを生み出す学校」、「みんなが生き生きと活躍できる学校」を達成するために、学校生活の中で皆さんに大切にしてほしいことを3つ考えました。

1つめは、去年もよく話しましたが、「笑顔(スマイル)」です。

今年も楽しい時も苦しい時も「笑顔」を忘れないでいてください。笑顔は自分や人を前向きにさせ、時には人を喜ばせたり励ましたり、勇気づけたり、いやなことを忘れさせたりします。みなさん「笑顔」を大切にしてほしいと思います。

今年も「スマイル250」、生徒も先生たちも笑顔いっぱいの維孝館中学校でありたいなと思います。

2つめは、「挑戦(チャレンジ)」です。今年1年間、一人一人が新しいことや苦手なこと、今まであまりしていなかったことに「挑戦」してほしいと思います。無理だと諦めそうなになった時、面倒だなど思う時、新しいことに出会い迷った時には、失敗を恐れず、粘り強く「挑戦」できる人になってほしいと思います。

みなさん一人一人が得意なことや興味のあることがあると思います。ぜひいろいろなことに挑戦し、豊かで楽しく幸せな学校生活を送ってほしいと思います。

3つめは、「思いやりと心遣い(コンシデレーション)」です。

先生の子どもが小さいとき、なかなか寝付かないのでいろいろな本を読み聞かせていました。そうした中で「熊のプーさん」に出てきた言葉がとても心に響き、今でも時々思い出し、自分にも言い聞かせています。

「A little consideration, a little thought for others, makes all the difference.」

日本語に訳すと、「他人への少しの思いやりと少しの心遣いが、全ての違いを生むんだ。」という言葉です。

困っている人や助けを求めている人がいれば、相手の立場や思いを考えて、場面や状況に応じた声掛けや態度のできる人になりたいなと先生自身いつも思っています。また、みなさんしんどい時にはお互いに遠慮なく助けを求め合える関係でいてほしいなとも思っています。みなさんには、学級・学年・部活動・同じ維孝館中の仲間同士として、お互いへの「思いやりと心遣い」を大切にしてほしいと思います。

ここにいる一人一人が「笑顔」「挑戦」「思いやりと心遣い」を大切にする事で「みんなが安心して生活できる学校」、「楽しいことやワクワクすることを生み出す学校」、「みんなが生き生きと活躍できる学校」になれば素晴らしいと思います。

生徒のみなさん一人一人が毎日楽しく、そして、学習面も体力面も心の面も成長できるように、先生達もみんなと力を合わせて一緒に頑張りますのでよろしくお願いいたします。

これで始業式の式辞を終わります。長くなりましたが静かにきいてくれてありがとうございました。

令和7年4月7日 校長 細矢和彦